

2021年度 精神分析入門セミナーのご案内

主催：大阪対象関係論研究会

このたび、精神分析の考えかたやししかたについて学ぶことを目的とするセミナーを開きます。このセミナーは、比較的臨床経験の浅い方（おおむね5年以内）や、臨床を学んでいる大学院生を対象にしています。（5年を超える方・精神分析的心理療法を行なっている方は、精神分析的な心理療法検討会への参加をお勧めします。）比較的少人数のグループで行なうことで、精神分析の理論や実践について集中的に学ぶことを目指しています。担当者が関心をもつ精神医学・臨床のトピックをテーマとして設定し、それについて参加者で検討していく予定です。みなさまの参加をお待ちしています。また昨年度に引き続き、対面とオンラインを併用して開催しますので、遠方の方にもご参加いただけます。

記

1. 開講日：年間全10回、毎月第4土曜日の午後4時より7時30分

※都合により、前後の週に変更することがあります。

2021年

4月24日、5月22日、6月26日、7月24日、9月25日、10月30日、11月27日

2022年

1月22日、2月26日、3月26日

2. 会場：上本町心理療法オフィス（大阪府大阪市天王寺区上本町6-6-26 上六光陽ビル601）
対面とZoomを用いたハイブリッド式の開催になります。

3. 講師：

館 直彦（顧問）

（たちメンタルクリニック、精神科医、臨床心理士、日本精神分析学会認定スーパーヴァイザー）

増尾徳行

（ひょうごこころの医療センター、臨床心理士、日本精神分析学会認定心理療法士）

4. 概要：

各回は、ゼミナールと事例検討の2本立てとします。前半90分はゼミナール形式です。精神分析・精神医学・臨床のテーマについて、各月に担当者を設けます。担当者は興味をもつテーマについてまとめて発表して下さい。講師が助言やコメントをします。もし、特定のテーマが見つからない時には、N.コルタート『精神療法家として生き残ること』を参照いただくことを推奨しています。15分休憩ののち、後半105分で事例検討を行ないます。こちらも、各月に事例提供者を設けます。引き続き講師が、助言やコメントをします。

5. 参加資格：医学・心理学・社会福祉などを大学・大学院で学んでいるか、現在実践されている方。

6. 参加費：年間 40,000 円（昨年度より 2 年度にわたって参加される方は、割引があります。）

7. 申し込み：

objectrelations.osaka@gmail.com（担当：川崎）までメールにて、お申し込みください。申し込みの締め切りを 2021 年 4 月 10 日とし、先着順に受け付けます。申し込み者が 12 名に達した場合、締め切り前でも受け付けを終了します。参加希望者が 8 名未満のときは、開催しない場合があります。その際は、4 月 15 日ごろに連絡します。ご不明な点がありましたら、上記メールアドレス宛てにご照会ください。

参考文献リスト：

1. 馬場禮子(2016): (改訂) 精神分析的人格理論の基礎—心理療法を始める前に. 岩崎学術出版社, 東京.
2. 館直彦 (監訳) (2010): 臨床家のための精神分析入門—今日の理論と実践. 岩崎学術出版社, 東京.
3. 館直彦 (監訳) (2009): 対象の影—対象関係論の最前線. 岩崎学術出版社, 東京.
4. 館直彦 (監訳) (2017): 太陽が破裂するとき—統合失調症の謎. 創元社, 大阪.
5. 館直彦 (監訳) (2007): 精神療法家として生き残ること—精神分析的精神療法の実践. 岩崎学術出版社, 東京.
6. 新宮ら (監訳) (2008): ヒステリー研究 フロイト全集 2. 岩波書店, 東京.
7. 新宮ら (監訳) (2007): 夢解釈 1, 2 フロイト全集 4, 5. 岩波書店, 東京.
8. 新宮ら (監訳) (2009): 症例「ドーラ」 フロイト全集 6. 岩波書店, 東京.
9. 新宮ら (監訳) (2008): 症例「ハンス」 フロイト全集 10. 岩波書店, 東京.
10. 新宮ら (監訳) (2009): 症例「シュレーバー」 フロイト全集 11. 岩波書店, 東京.
11. 新宮ら (監訳) (2010): 症例「狼男」 フロイト全集 14. 岩波書店, 東京.
12. 北山修 (監訳) (2006): 「ねずみ男」精神分析の記録. 人文書院, 京都.
13. 狩野力八郎 (監訳) (2012): 精神力動的な精神療法—基本テキスト. 岩崎学術出版社, 東京.
14. 狩野力八郎(2002): 重症人格障害の臨床研究—パーソナリティの病理と治療技法. 金剛出版, 東京.
15. 山上千鶴子 (訳) (1987): 児童分析の記録 1, 2 メラニー・クライン著作集 6, 7. 誠信書房, 東京.
16. 成田善弘 (監訳) (2005): パーソナリティ障害の診断と治療. 創元社, 大阪.
17. 西丸甫夫, 西丸四方(2008): やさしい精神医学 (改訂 5 版). 南山堂, 東京.
18. 藤山直樹 (監訳) (2008): 患者と分析者 (第 2 版)—精神分析の基礎知識. 誠信書房, 東京.
19. 館直彦(2013): ウィニコットを学ぶ—対話することと創造すること. 岩崎学術出版社, 東京.
20. 滝川一廣(2017): 子どものための精神医学. 医学書院, 東京.
21. 北山修 (監訳) (2005): 小児医学から精神分析へ—ウィニコット臨床論文集. 岩崎学術出版社, 東京.
22. 牛島定信 (訳) (1977): 情緒発達の精神分析理論—自我の芽生えと母なるもの. 岩崎学術出版社, 東京.
23. 橋本雅雄, 大矢泰士 (訳) (2011): 新版 子どもとの治療相談面接. 岩崎学術出版社, 東京.
24. 橋本雅雄, 大矢泰士 (訳) (2015): 改訳 遊ぶことと現実. 岩崎学術出版社, 東京.
25. 妙木浩之 (監訳) (2015): ピグルー—ある少女の精神分析的治療の記録. 金剛出版, 東京.